

調査部 特別審理官（第3担当）付

平成30年採用（一般職行政）

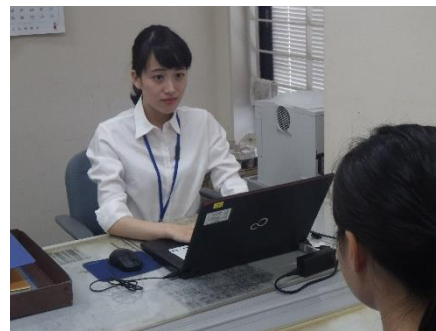
1. 税関を志望したきっかけ

社会の安全に携わる仕事をしたいと思い、どのような職業があるのか調べる中で、不正薬物や拳銃などの密輸入を取り締まる税関を知りました。様々な分野において、安全な社会の実現のために取締りを行う官庁がありますが、説明会に参加したときに、税関職員の方が最もいきいきとお話しされていて、仕事への誇りや職場の雰囲気の良いことが伝わってきたことが1番の決め手でした。

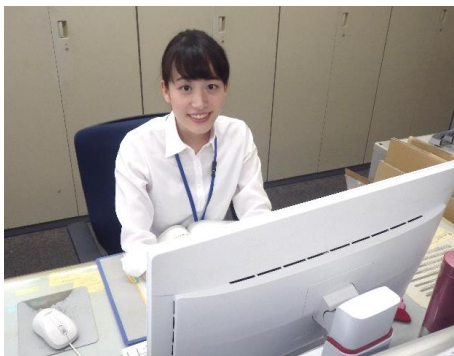
2. 現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力など

私は、神戸税関本関の調査部特別審理官（第3担当）に所属し、関税のほ脱（脱税）事件や日本に輸入してはならない物の密輸入事件等の調査を行い、事件を解明する仕事をしています。具体的には、事件関係者への張込や行動確認、関係先の搜索、犯則嫌疑者の取調べ等を行っています。事件調査は緊張感があり、特に取調べは相手の供述に嘘や矛盾がないかを考えながら行わなければならないので、難しいことも多いですが、1つの事件の調査をすべて終えたときの達成感は大きいです。

仕事内容を聞くと、なんだか怖そうという印象を持たれるかもしれませんが、普段は明るい職場ですし、いざというときはフォローして下さる頼もしい上司ばかりです。私自身、1年目の取締部門に続いて、現在まだ2つ目の部門ですが、税関の魅力は仕事内容が幅広く多岐に亘ること、研修制度や自己啓発の機会が充実していること、職場の雰囲気が良いことだと思います。



3. 受験生へのメッセージ



「税関」というと「空港で荷物検査をしている人」というイメージが大きいかもかもしれません。私もそうでした。しかし、実際には事件調査の他、輸出入貨物の許可、外国貿易船の監視・取締、麻薬探知犬のハンドラー、貿易統計、輸出入に係る税務調査、他国との関税技術協力など様々な業務がありますので、きっとあなたの好きなことや得意なことを活かすことができると思います。